

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有成分	文獻	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
275	2007/06/19	70275	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲン エキス	Aspergillus fumigatus		有効成分	無	無	無			
276	2007/06/19	70276	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲン エキス	Alternaria kikuchiana		有効成分	無	無	無			
277	2007/06/19	70277	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲン エキス	Candida albicans		有効成分	無	無	無			
278	2007/06/19	70278	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲン エキス	Cladosporium cladosporioides		有効成分	無	無	無			
279	2007/06/19	70279	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲン エキス	Penicillium luteum		有効成分	無	無	無			
280	2007/06/22	70280	ベネシス	ウロキナーゼ注射剤	人血清アル ブミン	人血液	米国	添加物	有	無	無	ウイルス感染	J Infect Dis 2006; 194: 1276-1282	ヒトボカウイルス感染の疫学的プロファイルおよび臨床的特徴を調べるため、2歳未満の小児のヒトボカウイルスを調査した。直接的免疫蛍光試験でRSV (respiratory syncytial virus)、パラインフルエンザウイルス(1-3型)、インフルエンザAおよびB、並びにアデノウイルスが陰性であった425名中22名(5.2%)がPORでヒトボカウイルス陽性であり、無症候であった98名では陽性者はゼロであった。この試験期間中、2つの異なる遺伝型が見られた。
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	PLoS Pathogens 2006; 2: 956-963	最近、大規模なスクリーニングによって、従来とは異なるPrPresがウシにおいて発見された。H型と呼ばれる高分子量のフランシスのウシPrPres分離株を、ウシまたはヒツジのPrPを発現するトランスジェニックマウスに接種した。全てのマウスは神経学的症状を呈し、死亡し、これらの株が感染性プリオンの新規株であることが示された。この病原体は、BSE病原体およびヒツジスクレイビー病原体とは明らかに異なる特有の神経病理学的特徴を示した。
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	FDA/CBER 2006年 10月15日 FDA/TSEAC Meeting 2006年12 月15日	FDAは、米国で認可されたヒト血漿由来第VIII凝固因子製剤(gdFVIII)の使用に係る潜在的vCJDリスク評価草案を作成した。FDAの評価モデルの結果は、血友病Aおよびフォンウィルブランド病患者に使用されるpdFVIII製剤の、vCJD感染リスクは非常に低い、ゼロではないかもしれないことを示唆した。またTSEAC(TSE Advisory Committee)は、pdFVIII製品中のTSE除去の適切な閾値について議論した。TSE除去レベルにより、vCJD感染リスクは大きく変動することが示された。